



soleil couchant

満員電車で揺られ、大都会へと向かう。

描いた理想とは全く別の世界。

変わりゆく友人たちに置いて行かれないようにもがいている。

自分を偽って得るものとはなんだろう。

ありのままの自分でいたい。

変わらないものもあるのだと、信じたい。



夕日の沈む先で

あの日見た鮮やかな夕暮れも

あの日の鮮やかな記憶も

沈み色褪せ消えてゆく

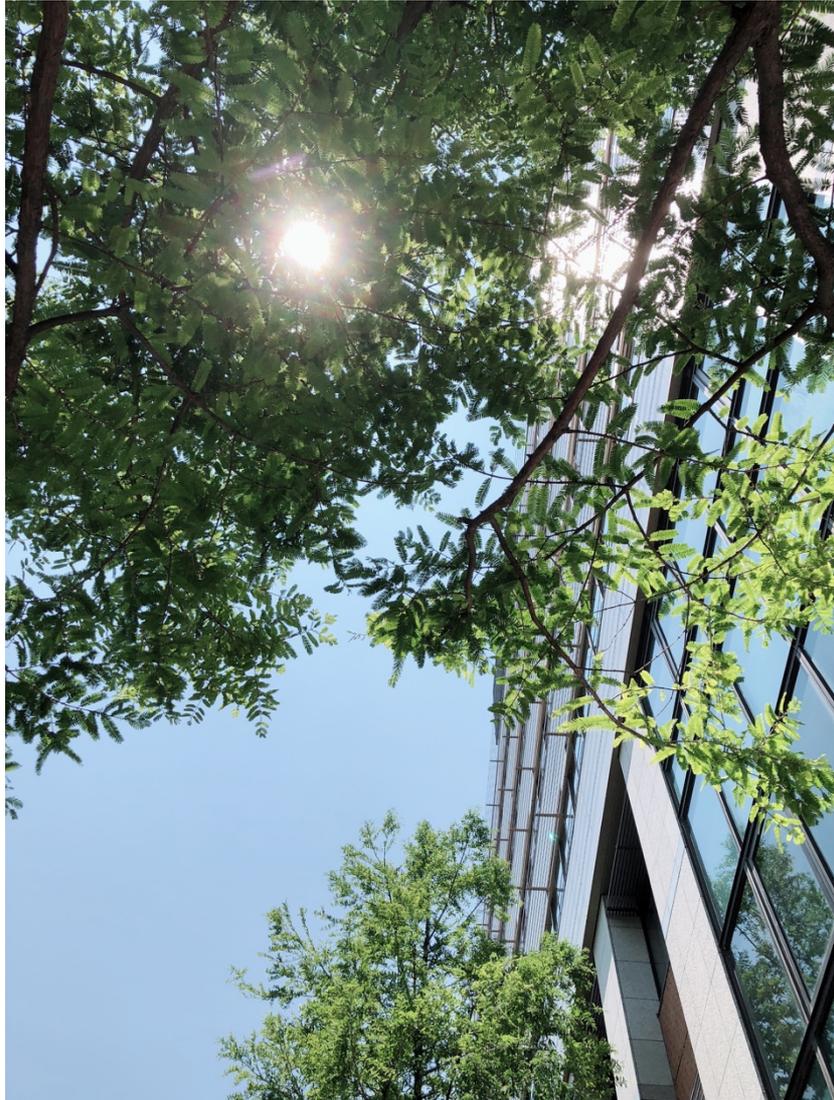
いつかまた綺麗な日が昇ることを期待しながら

何も無い日常に鮮やかな記憶が付け加えられることを期待しながら



時

“今”は“今”しかない
全く同じものなど存在しない
それぞれに異なる道を歩む
私たちの人生というものもまた一度きりで
それはまるで花火のように美しく、儂く、一瞬である
だから刹那的に生きてしまうのだ
と、私は思う



フェイク

今日の天気は雨のち曇り…のはずだった。

お昼休み空を見上げると葉の間から眩しい光がわたしを見つめていた…。

…わたしだけか？いや、ちがう。

すずめがちゅんちゅん泣いている。

みんな神様のフェイクに騙されたんだ

Merci



美

いずれ消えるなら

いずれ死ぬなら

堂々と輝いていたい

沈む太陽のように

最期の瞬間まで

TeRRe.



過去

思い出を忘れないかぎり

その時の空に

またこの空に巡り会える気がする

メモワール



水のころ

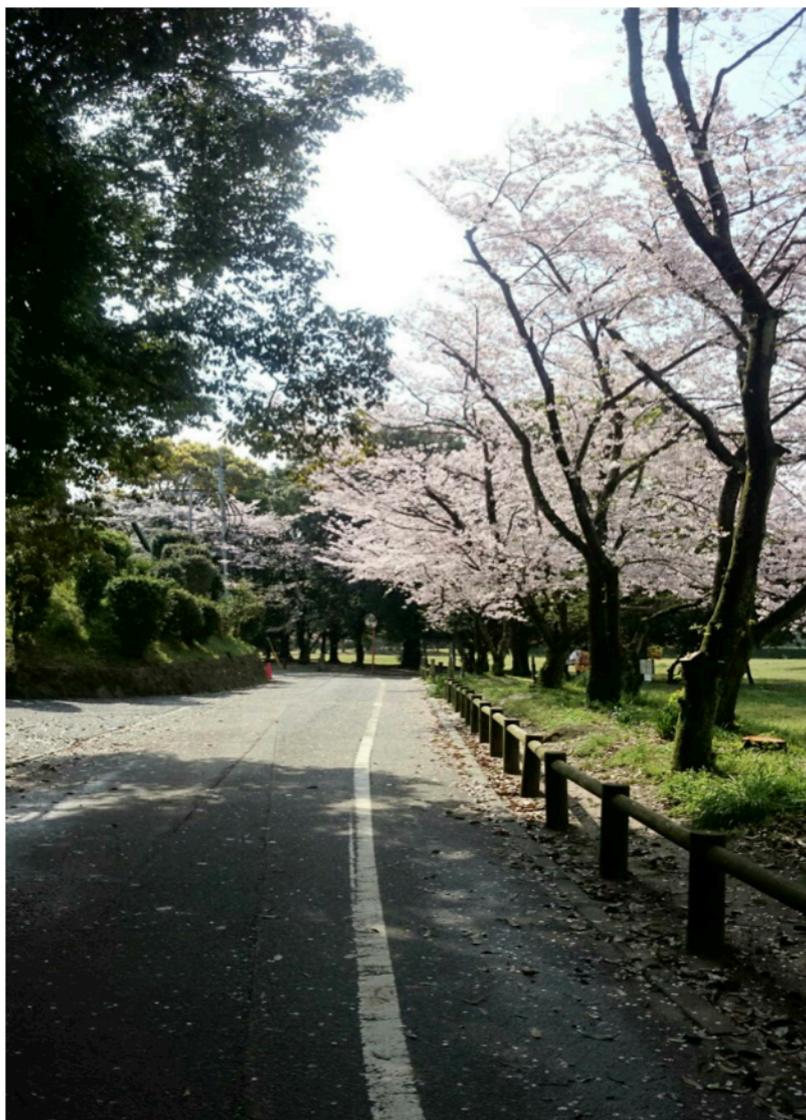
水

形も色も味もない

何もないあなたには

辛さや悲しみもないのだろうか

pêcheur.



また会える日まで..

桜舞い散る並木道を

またいつか一緒に並んで歩けるのなら

僕はずっと君を待つ

la musique



おらんじーな

沈む太陽を見て

「今日も楽しかったなあ」って

大きく笑う君を見ると

心の中は暖かいオレンジ色に染まるんだ

Clara

道

道をつくりたい。

おまえらがつくった道は通りたくない。

あらゆるものが整えられ
歩む速さも、方向も決められた
おまえらがつくった道は通りたくない。

道をつくりたい。

おれがつくった道を通りたい。

前には藪、後ろに足跡

走る、歩く、休む、転ぶ、すべる、
曲がる、飛び越える、潜る、もどる、
おれがつくった道を通りたい。

大儲けも大損もおれが背負う。
ワクワクな人生に。

C'est la vie

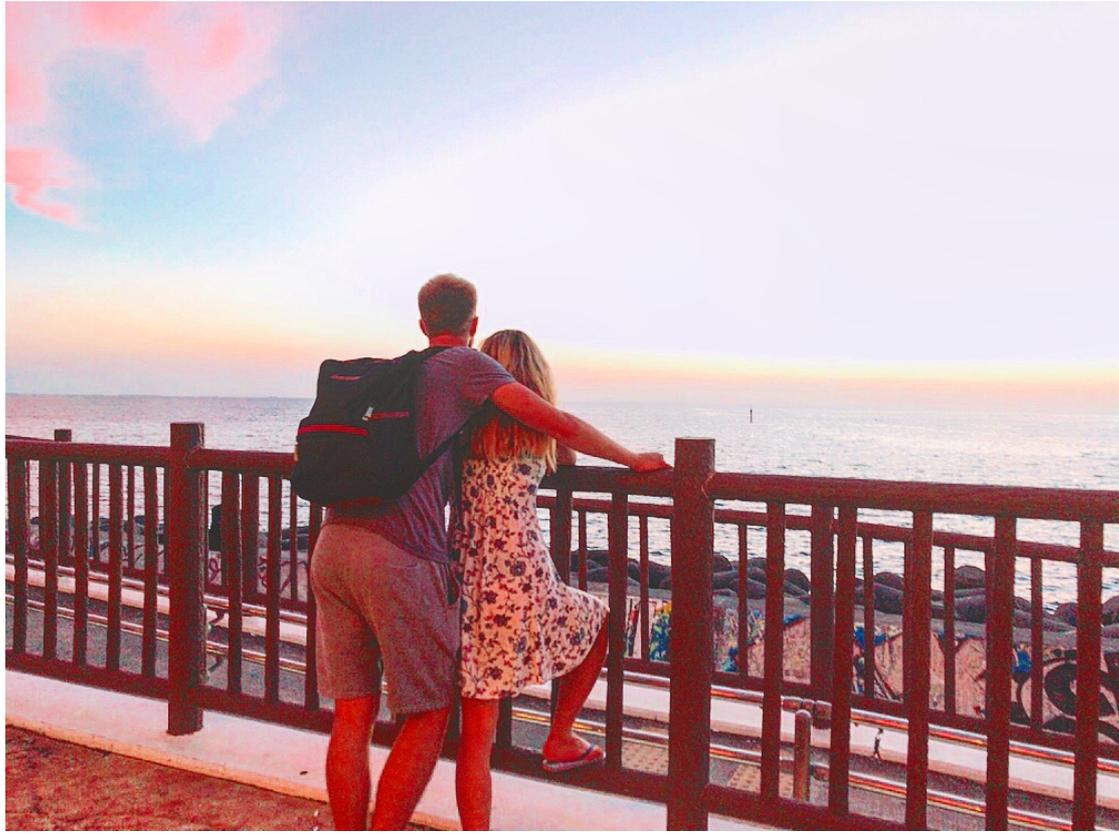


Source

緑たちよ、いつも酸素をありがとう

これからも一緒に生きていこう。

まか★ほん



Over the sea

このカップルはなにを見つめているのだろうか。

1日の終わりを告げる夕日だろうか。

今日もまた1日が終わる。

必ず明日はやってくる。

fraise



空色

心に余裕ができた時

心が折れそうな時

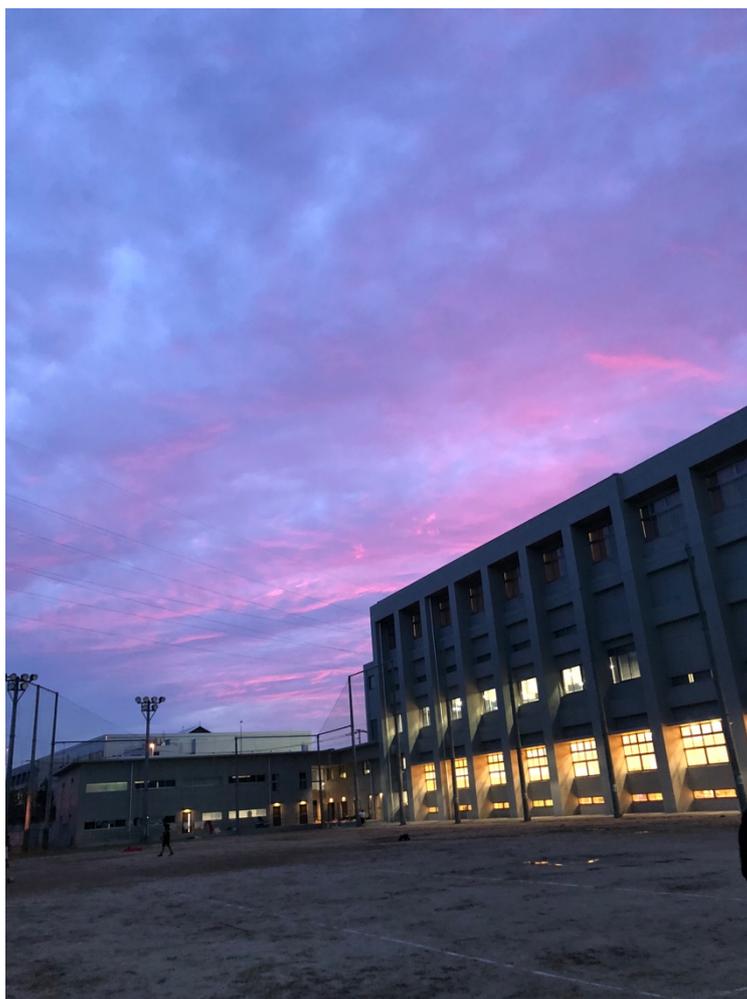
ふと見上げる空は

どんな色をしているだろうか

藍、茜、あさぎ浅葱、群青、あけぼの曙 …

答えはひとつじゃない

見上げる人の数だけ色も生まれる



放課後の空

時刻は 19:30。総合体育館裏グラウンドから見た風景。

この日の朝は雨が降っていたため、空には雲がたくさんあり、

夕日に照らされ青紫とオレンジ色っぽい空である。

辺りは部活の声が響いている。

じめっとした地面の匂いがする中、黒い楕円形が飛び交う。

今日もキャプテンの「ハイ！」という声で1日がおわる。

ソレイユ



故郷

母から送られてきたこの風景に心奪われた

時には暗く時には明るい顔を持つ空

次出会う空はどんな顔をしているのだろう

Lila



親子

母と一緒に磁石を組み立てる。

「なんか葡萄みたいになったね。」

「肩車しとるね。」

こんなことするのも我が家くらいだろう。

ヤーパン



刻

地球の誕生から現在まで 24 時間に換算

人類の誕生まで後 4 分…

今できることを。

München



一生懸命に生きる

なかなか日本でこの距離で見たことがないけど、
実際に自然や動物を目にする事で、
こんなに小さな動物の為にももっともっと環境を
大切にしていこうと思える。

ハリボー



前に進む刻

強がって咲いたつもりだった

陽に手をのぼしていた

春は、目の前にある

Gemini

陽はまた昇る



どんなに辛い状況にいる人にも
どんなに幸せな状況にいる人にも
同じ“明日”はくる。

同じ“一日”を過ごすなら
負けずに踏ん張って生きようじゃないか

Jasmin



馳せる

僕は立ち止まり、思わずシャッターを切った。

「地球は青かった……。なーんて昔の人は言ったよなあ」
ころり、と出た言葉はそのまま地面に吸い込まれた。

世界は広がった。
僕はまた歩き出した。



今

古代の人々は、ここから見える景色に
建物がある現代を想像しただろうか.....？

Milch



ガラスの靴を、私にも。

誰もが知っているシンデレラ。
本当に夢のようなお話。
お話通りにはいかないけれど
いつか
自分の足にぴったりのもの、
履いてみたい！！

Milch

岩壁の上でぼくらは



岩棚を足場にし、
ぼうっと海を眺め潮騒を聞く。
それくらいそうしていただろうか。
体力はすっかり戻った。
カラビナを外す。
さあここから先はどうなる？
いいや、ここまで、
自分の手足で登ってきたんだ。

勢いよく手を伸ばし、
岩の突起を掴む。

誰よりも速く登れる気がした。

Gebirgsjäger 擬き



「旅」

空は青く澄み渡ってる

今からどこへ行こうか

僕たちの知らない場所へ出かけようか

Köln



「Jump！！」

もくもく雲に飛びこみたくなって

うずうずしてきて…

飛びこんじゃった…!!

Köln



夕焼け

一泊二日の名古屋旅行。友と九州にないインスタ映え spot を巡り満喫。

あっという間に時間が過ぎ気づいたら飛行機の中。

終わっちゃう。夕焼け空は楽しかった一日が終わる目印だ。

明日もいい日になりますように…



海

家族で行った沖縄旅行。
潮風でべたべたするけれど、
福岡の海では絶対に見ることができないきれいな色だ。

またみんなで来たいと思う



何かくれるの？

陰生の梅雨の朝

君との散歩が始まる

君と瞳が合う度に

君が私に気付かせる

君は私の宝物である。

LIEBEN